

(仮称)新梁川橋下部工工事 令和 8年 6月号 かわらばん



現場上空から撮影



令和 8 年 5 月撮影

5月度
進捗出来高

60.5%

6月度
進捗出来高予想

60.9%

近隣の皆様におかれましては、日頃より本工事にご理解と多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。岩手もいよいよ入梅の季節を迎え、雨の日が多くなってまいりました。

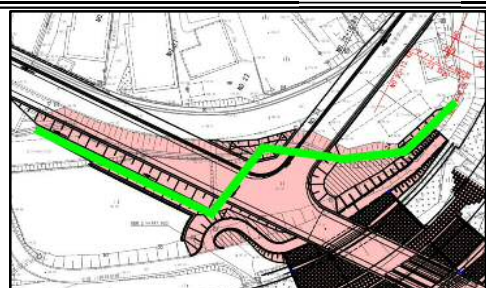
6月は雨天による作業予定の変更や、地面のぬかるみ等が発生しやすくなるため、これまで以上に足元の安全確保と周辺への泥の流出防止を徹底してまいります。これから本格的な夏に向けて蒸し暑い日も増えてまいります。皆様も体調を崩されぬようご自愛ください。



A1橋台側(起点側) 排水路工 全行程終了

当現場において施工を進めてまいりました、A1橋台側排水路の設置工事(上図の緑ライン部)が、すべての工程を完了いたしました。この水路は、周辺地域の農業用水路としての利用を目的に、内径600mmの大型コンクリート製円形水路(CSB φ600)を39mにわたって敷設・整備いたしました。CSB(遠心ボックスカルバート・管)は外圧に強く高強度な資材であり、長期にわたり安定した通水性能を維持することができます。また、このCSB区間の前後については、周辺構造物や既設の農業用排水路との確実な接続を図るため、ベンチフリューム300型を計82m設置し、総延長121mに及ぶ一連の水路ネットワークを繋ぎ込んでおります。本格的な梅雨や集中豪雨の時期を前に、この排水路一連の整備が完成したことにより、現場および周辺地域における雨水・農業用水の流末処理能力が大幅に向上しました。これにより、大雨発生時における路面の冠水、法面からの土砂流出、地盤のぬかるみといった不具合の発生を効果的に抑制し、現場周辺の安全性を高めることができます。

排水路工事の完了に伴い、次の施工ステップとして「路体盛土工事」に着手いたします。路体盛土は、道路の土台(最下層の基礎部分)となる強固な土の壁をつくる重要な作業です。今後は現場内へ大量の土砂を搬入し、重機を使用して1層ずつ強固に締め固めながら、所定の高さまで土を積み上げていく作業を進めてまいります。



A2橋台 Pコン穴埋め・上部工鉄筋さび止め塗布作業の実施

構造物の長期的な品質と耐久性を確保するため、国土交通省の「NETIS(新技術情報提供システム)」に登録された先進的な技術および資材を用いた仕上げ・防錆作業を実施いたしました。

型枠固定金具の取り外し跡を塞ぐPコン穴埋め処理には、従来のモルタル詰め代わりに、OKヒットコン(NETIS登録番号:KT-160046-VE)を使用します。この新技術部材は高い止水性と防錆効果を兼ね備えており、打ち込むだけで均一かつ確実な止水壁を形成し、構造物内部への雨水浸入を完全にシャットアウトします。

A1やA2は、上部工構築に向けて露出している鉄筋の防錆処理には、鉄筋防錆剤であるハイサビラーズ(NETIS登録番号:KT-150006-VE)を塗布します。梅雨の長雨や湿気によるさびの発生を長期間にわたり抑制する高い防錆力を持ちながら、その後に打設する生コンクリートとの付着力を一切阻害しない特性を持っています。

これにより、将来的なコンクリートのひび割れや強度低下を未然に防ぎ、橋台の耐久性を最大限に高めます。

